

みどりによる地域価値の向上について 川崎市提案



Green For All
KAWASAKI 2024

第41回 全国都市緑化かわさきフェア

これからはじまる
Colors, Future! Actions
さあ、いっしょに。

100th

2024年、川崎市は市制100周年

1 みどりによる地域価値の向上の意義



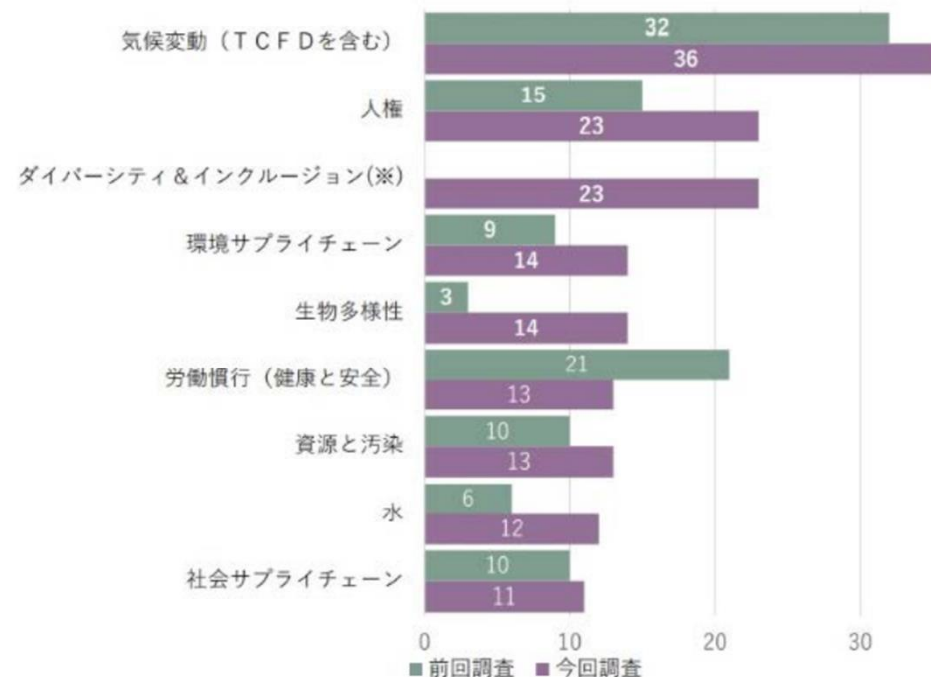
○地球環境等の世界的潮流に関する国内外の動向を背景に、**民間企業においても自然資本や生物多様性に関する取組が進んでいる**

(1) 社会環境の変化を踏まえた動向

●みどりの活用

- ・気候変動や生物多様性等みどりに由来した**ESG投資が活発化**。
- ・ネイチャーポジティブやカーボンニュートラル・GX等の世界的潮流に関する国内外の動向を背景に、**民間企業において自然資本や生物多様性に関する取組**が進んでいる。
- ・都市部では、道路空間や商業施設等において**みどりの多様な機能を活用した取組**が進められており、**利用者満足度の向上や店舗の売上げ増加**につながっている。
- ・隣接する**公園・緑地空間との一体的な事業実施や連続した空間確保**を行うことで、歩行者に配慮した新たなオープンスペースが創出され、**民間事業者等との連携による管理・活用体制の構築**が進められている。

機関投資家が重視しているエンゲージメント(※)テーマ
(単位：社 有効回答数：39社)



※エンゲージメント…機関投資家等が投資先企業や投資を検討している企業に対して行う「建設的な目的をもった対話」のこと。投資家が中長期的な視点から経営の改善に働きかけることで、企業の持続的な成長と企業価値向上を促すことを目指す。

2 みどりに関する国の動向

○国においても、みどり空間を地域の資産として一体的に捉え、共に管理・活用し、地域価値を向上させる取組が重要と示している

(1) 都市公園の活用に関する国の施策

●都市公園法の改正

- ・民間活力を最大限活かして、緑・オープンスペースの整備・保全を効果的に推進し、緑豊かで魅力的なまちづくりを実現するため、公園占用許可の特例、公募設置管理制度（Park-PFI）等の施策を推進。

●都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会

- ・新たな時代の都市公園は、パートナーシップの公園マネジメントで多様な利活用ニーズに応え、地域の価値を高め続ける「使われ活きる公園」を目指す。
 - 新たな価値創出や社会課題解決に向けたまちづくりの「場」とする
 - しなやかに使いこなす「仕組み」を整える
 - 管理運営の「担い手」を広げ・つなぎ・育てる

(2) 公共空間の活用に関する国の施策

●グリーンインフラ推進戦略2023

- ・グリーンインフラの目指す姿「自然と共生する社会」や、取組に当たっての視点を示すとともに、官と民が両輪となって、あらゆる分野・場面でグリーンインフラを普及・ビルトインすることを目指し、取組を総合的・体系的に位置づけ。

【例】

- 先導的グリーンインフラモデル形成支援
- グリーンインフラ活用型都市構築支援事業

●「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくり支援制度

- ・居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成等に資する空間創出や計画策定等への支援として、新たな予算措置や税制改正、法改正等の施策を推進。

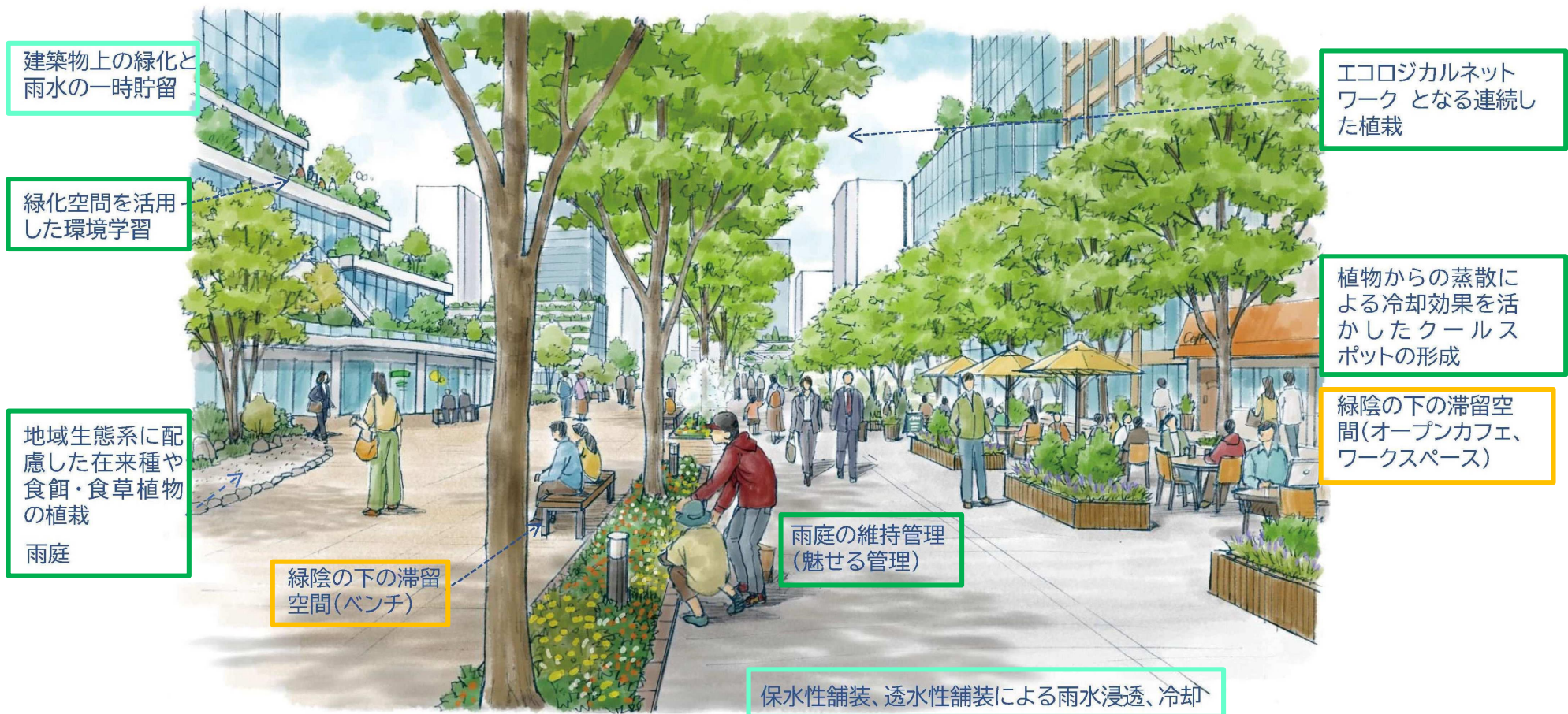
【例】

- まちなかウォークアブル推進事業
- 官民連携まちなか再生推進事業

3 みどりによる地域価値の向上に向けた各都市の取組

○各都市で公有地・民有地が一体となった、地域の魅力や賑わい創出につなげる取組が進められている

公有地・民有地のシームレスな歩行空間づくり



※国土交通省「グリーンインフラ実践ガイド」 みどりに彩られた都心のメインストリートの風景より抜粋

3 みどりによる地域価値の向上に向けた各都市の取組



(1) 地域と一体となった管理運営の事例～みどりを意識した都市開発～

『南町田グランベリーパーク』

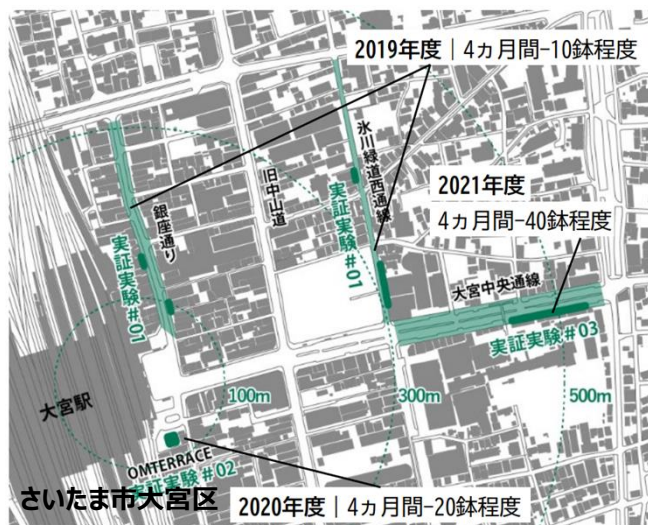
所在地：南町田グランベリーパーク駅



3 みどりによる地域価値の向上に向けた各都市の取組

(2) 地域と一体となった管理運営の事例～みどりを活用したエリア価値向上～

～街路空間を活用した緑化滞在空間の社会実験～
『OMIYA STREET PLANTS PROJECT』
所在地：大宮駅東口



沿道オーナーによる維持管理の様子



QRコードが掲出されている街路植栽



地域の生産圃場での植栽選定の様子

4 川崎市における取組と課題

○川崎市においても、みどりの力を活用した地域価値の向上に向けて、様々な取組を行っているが、**新たな課題も生まれている状況**

(1) こすぎコアパーク

- 都市再生特別措置法による「まちなかウォークアブル区域」の特例制度「都市公園リノベーション協定制度」に基づき、川崎市と東急株式会社との間で20年間の設置管理協定を締結。
- 武蔵小杉駅南口に面する都市公園を活用した地域主体のイベント等の開催など、賑わいと交流の場として利用。



飲食店の協力によるベンチや日よけ等の導入



駅と連続した歩行空間の整備



地域連携によるまちの賑わい創出

⇒【課題】公園収益を、地域に還元する仕組みが必要

⇒【課題】さらなる周辺企業との連携・定着が必要

4 川崎市における取組と課題

(2) 殿町キングスカイフロント

- 公共空地や企業敷地と一体となった整備を推進。
- 歩道上空地や壁面後退など道路空間との一体性に留意した整備をガイドラインで規定。
- 公園に隣接する宿泊施設と連携し、賑わい創出に向けた取組を実施。



公共空間と民間開発区域が連続したシームレスで質の高いみどり空間の創出



歩行者空間沿いの積極的な敷地内緑化



地域連携による賑わい創出

⇒【課題】継続的な維持管理のための担い手や資金等の確保が必要

5 首都圏における取組の課題



都市化により、まとまった緑やオープンスペースの確保が難しい中、隣接事業者等と連携したシームレスな一体的整備や維持管理などを進めるためには、多方面と柔軟に協議・調整を行う必要があるとともに、継続的な取組の展開にあたっては、担い手や資金の確保などの課題がある。



九都県市が共同で、みどりの力を活用した地域価値の向上に向けた取組について、知見の共有及び課題解決手法の検討を行う。

6 九都県市による研究内容の例



- 1 .地域において、多様な主体が連携して進めている
みどりの力を活用した先進事例の調査研究・共有
- 2 .みどりによる地域価値の向上に向けた、効果的な
整備や維持管理手法の共有、整備効果の把握・
見える化に向けた取組の検討